

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年5月15日

事業所名 リハこどもデイフクシア

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	ロールカーテンやパーティションを利用し、視覚的に仕切ることによって目的別に環境を整備している	目的に沿った適切な活用を行っている。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	複数事業所を展開しているため定期的な配置換えをしている	人員基準を順守し、職員を配置していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	訓練室は広く、柱があるため死角ができる	設備に関して、視覚的なアプローチや、危険が予測される場所に対する環境整備を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	勉強会などの開催	ミーティング、朝礼時にPDCAサイクルを行う。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	評価表に記載されているご意見を参考に業務改善を実施する	アンケートや、満足度の調査を活かし、業務改善に活かしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	HPやSNSを利用して、公開している	事業所ホームページに掲載し、今後の展開も含め具体的な行動指針を掲げる。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	外部評価は受けていません	今後は第三者評価を検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	オンライン研修も取り入れている	定期的な研修、伝達講習を行う。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	利用児や保護者のニーズ把握や課題分析を専門的に行っている	利用児、保護者のニーズに沿った計画を各専門分野からの意見も踏まえ作成する。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	セラピストによるアセスメントを実施	保育士や介護福祉士等もアセスメントをしっかりとするようにしていきたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	概ね3か月ごとにカンファレンスを実施	カンファレンスや症例検討などの機会を増やし、継続していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	季節ごとに行事を取り入れている	季節などに合わせて工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	平日と休日に分けてプログラムを設定している	長期休みには屋外行事や訓練を多く設定して平日には時間的にできない体験を積ませてあげられるよう工夫している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	概ね出来ている	状況の変化に合わせて緊急ミーティングを行う。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日の朝礼時に確認している	各専門分野の役割を明確にし、動きの確認を行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	振り返りを、申し送りノートを活用し、必ず伝達を行う。	申し送りノートを活用し、休みの職員にも情報共有が出来るようにしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	ダブルチェックしている	個人カルテや日誌、申し送り表等の記録をもとに、さらに利用児に関する療育などにうまくつながるように改善していく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	概ね出来ている	定期的にモニタリングを行い発達、成長に合わせた見直しを行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	概ね出来ている	パターン化しないように個々の能力に応じて内容を設定している。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	担当者が参画困難な場合は必ず、引継を行い、的確なコメントができるように配慮する。	オンライン会議など感染状況に応じて柔軟な対応が必要となっている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	随時、実施できている	学校ごとに行事予定や下校時刻予定を受け取り、ダブルチェックで確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%	実績なし	連携医療機関と協議して、体制を整えていきたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	特に新1年生の場合は保護者同意のもと情報をいただくようにしている。	連携が取れる関係機関と取りにくい関係機関があるため、相互理解を深めて連携しやすい関係を構築するように努力します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	保護者同意のもと会議への出席や書面での報告を行っている	今後も連携を継続できるよう努めていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	専門機関が主催する定例会や研修に参加してコミュニケーションをとっている	地域や、専門機関との連携強化の為の連携会等の参加を積極的に行う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%	地域の公園で同世代のお友達と一緒に遊べるようにしている	イベント、行事等に入れ込んでいく必要あり。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	地域で部会や会議が行われていない	コロナの影響で、ほとんどの行事が中止となる。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	主に送迎時に伝えている。	毎日の送迎や連絡帳を通じて報告しているが、さらにコミュニケーションの機会を増やしていきたい
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%	実績なし	今後はペアレント・トレーニング支援を検討していきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明している	契約時に説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	随時、対応している	いつでも連絡がとれるよう体制を整えている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	親子で参加出来る行事を開催している	父母会等に対応する支援や保護者同士の連携を支援できる体制を整えていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	随時、対応している	いつでも連絡がとれるよう体制を整えている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	SNSを利用し、行事予定や日頃の様子など発信している	会報等は実施できていないが行事ごとに案内文を作成してお知らせしています。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	概ね出来ている	個人が特定されないようにSNSやHPでの画像にはモザイク処理を施しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	評価をしっかりと行い対応する	個々に合わせた意思疎通、情報の伝達ができるように心がけていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	こども食堂の開催	食中毒やコロナ感染症など予防策を講じながら実施している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	概ね6か月ごとに現状に合った内容を見直している	概ね6か月ごとにマニュアルの見直しを行っているが保護者への説明は不十分だと思いますので改善していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	DVD教材を使用して災害時教育を行っています。	訓練回数が少ないので火災、地震など災害ごとに分けて実施するよう検討する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	勉強会や研修への参加	研修の機会を増やしていきたい
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0%	100%	実績なし	主治医と相談のうえ対応、対策を講じていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	医師からの指示書や保護者からの連絡で把握している	事前面談時に家族にアレルギー等の確認している。それをスタッフ全員で把握するようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	全体会議で共有している	毎月、リスクマネ会議を開催し、集計、分析、改善を行っている。